

# 「広島県建設分野の革新技术活用制度」登録技術の活用事例

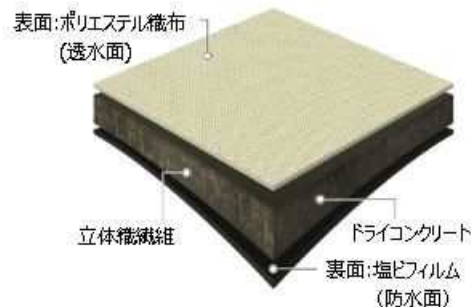
技術名称：コンクリートキャンバス

登録事業者：太陽工業株式会社

様式2

## ① 技術概要・概要図

特殊配合のドライコンクリートを立体織物に内包した構造で、敷設後に散水、または水中に浸けることでドライコンクリートが硬化し、薄く、高耐久で水密性が高く防水効果のあるコンクリート面を構築することが可能な技術である。



## ② 設計・施工等の概要

項目	概要
年度	令和5年度
発注機関	広島県
事業名	二級河川瀬野川水系三谷川砂防激甚災害対策特別緊急工事
対象地	安芸郡熊野町
工期	令和4年11月16日～令和5年8月30日
数量	水路ライニング工 200m <sup>2</sup>

## ③ 活用に至った現場条件や経緯

- (1) 布製型枠にて設計されており、施工中に発生するノコの河川への流出による環境への影響を考慮する必要があった。
- (2) 環境対策を考えると仮締切や水処理施設の設置等が必要であった。

## ④ 活用効果（本事例における効果）

- コンクリートキャンバスは周囲環境への影響がないため、(1)を解決できた。
- 上記より、(2)の仮締切等の必要がなくなったため、当該施工における仮設費を低減できた。また、(2)不要により工期が短縮できた。

## ⑤ 活用状況写真



図1.コンクリートキャンバス施工後写真